

2025年度 東京都立大学大学院 人文科学研究科 入学試験 （9月入試）	
教室名（分野名）	社会人類学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	言語科目（英語Ⅰ）
出題の意図	研究を進めるために必要な基本的な英文翻訳力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 東京都立大学大学院人文科学研究科

社会行動学専攻

社会人類学教室

博士前期課程（一般学生）

言語科目（英語Ⅰ）試験問題

2024 年 9 月 24 日（火）

9 : 30～12 : 30

※設問ごとに別々の答案用紙を使用すること。

※答案用紙に受験番号・氏名・問題番号を記入すること。

※答案用紙の裏面は使用しないこと。

※辞書持込可（1 言語科目につき 1 冊）。

2025 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室 博士前期課程（一般学生）
入学試験問題（英語 I ー①）

問 次の文章を和訳しなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することはできません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典 L. Holy, Anthropological Perspectives on Kinship. 1996, p.94.

2025 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室 博士前期課程（一般学生）
入学試験問題（英語 I ー②）

問 次の文章を和訳しなさい。

問題本文は著作権上、ホームページ
に掲載することはできません。出典を
参考にするか、東京都立大学南大沢
キャンパス人文社会学部教務係の窓
口で閲覧してください。

出典： Firth, R. 1935 "Primitive Polynesian Economy", The Norton Library

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(9月入試)

教室名(分野名)	社会人類学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生(留学生)
試験科目名	言語科目(英語Ⅱ)
出題の意図	研究を進めるために必要な基本的な英文読解力と英文作成力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 東京都立大学大学院人文科学研究科

社会行動学専攻

社会人類学教室

博士前期課程（一般学生）

言語科目（英語Ⅱ）試験問題

2025 年 9 月 24 日（火）

9 : 30～12 : 30

※設問ごとに別々の答案用紙を使用すること。

※答案用紙に受験番号・氏名・問題番号を記入すること。

※答案用紙の裏面は使用しないこと。

※辞書持込可（1 言語科目につき 1 冊）。

2025 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室 博士前期課程（一般学生）
入学試験問題（英語Ⅱ－①）

問 以下の英語の文章のなかで、筆者はどのようなことを説明するために、象（elephant）に関する逸話を提示しているのか。全文を読んだうえで、日本語で説明しなさい。字数制限等は特に設けない。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することはできません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務系の窓口で閲覧してください。

出典：Cook, J., J. Laidlaw and J. Mair (2009) What if There is No Elephant? Towards a Conception of an Un-sited Field, In M.-A. Falzon (ed.) *Multi-Sited Ethnography: Theory, Praxis, and Locality in Contemporary Social Research*. London: Ashgate, pp. 47–72.

2025 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室 博士前期課程（一般学生）
入学試験問題（英語Ⅱ－②）

問 次の文章を英訳しなさい。

いささかクラシックな物言いかもしれないが、人類学という学問が担う役割としてしばしば言及されるものに、既存のものの見方の相対化がある。自明視してきた概念の妥当性を問う作業も、その代表的なもののひとつであろう。「親族」という概念もその憂き目にあった。ポストモダン人類学の潮流においては、英語の「kinship」やその訳語としての日本語の「親族」は、世界各地の近親者同士の多様な関係を広くカバーしうる述語たりえないといった趣旨のことが盛んに指摘された。kinship に代わる言葉として、カーステン（J. Carsten）は「relatedness」を、サーリンズ（M. Sahlins）は「mutuality of being」を提唱し、一定の認知を受けた。しかしながら、これらの汎用性が高すぎる概念に対しては、ローカルな文脈を生きる人々の関係性をめぐる様々な現実や実践を“掬い上げ過ぎる”という批判がなされていくようになる。

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(9月入試)

教室名（分野名）	社会人類学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	基礎知識
出題の意図	研究を進めるために必要な社会（文化）人類学とその関連分野における基礎知識と論述能力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 東京都立大学大学院人文科学研究科

社会行動学専攻

社会人類学教室

博士前期課程（一般学生）

基礎知識 試験問題

2024 年 9 月 24 日（火）

13 : 30～15 : 30

※設問ごとに別々の答案用紙を使用すること。

※答案用紙に受験番号・氏名・問題番号を記入すること。

※答案用紙の裏面は使用しないこと。

2025 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室 博士前期課程（一般学生）
入学試験問題（基礎知識）

問 以下のすべての設問に答えなさい。

- 1 フィールドワーク中の聞き取り調査で、AさんとBさんから得た情報の間に不一致があるとわかった場合、どのような受けとめ方がありうるだろうか。考えるところを800字程度で論じなさい。
- 2 人類学的研究において、衣服を論じることの意義について、考えるところを述べなさい。
- 3 「人種概念の社会的構築性」について、知るところを述べなさい。
- 4 隠喩（metaphor）と換喩（metonymy）について、具体例をあげて説明しなさい。
- 5 ポリティカル・エコノミー論について、知るところを述べなさい。

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(9月入試)

教室名(分野名)	社会人類学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生(留学生)
試験科目名	論文
出題の意図	研究を進めるために必要な基礎学力と論述能力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 東京都立大学大学院人文科学研究科

社会行動学専攻

社会人類学教室

博士前期課程（一般学生）

論文 試験問題

2024 年 9 月 25 日（水）

10 : 00～12 : 00

※答案用紙に受験番号・氏名を記入すること。

※解答用紙の裏面は使用しないこと。

二〇二五年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室 博士前期課程（一般学生）

論文

問 以下の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することはできません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することはできません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問1 傍線について、筆者は人類学とエスノグラフィーがどのように違つと考えているのでしょうか。自分の言葉で簡潔に述べなさい。

問2 本文をふまえ、あなたの考える人類学とエスノグラフィーの双方の具休像について論じなさい。これまで読んだ書籍・論文を挙げても、あなた自身のイメージでも構いません。字数制限は特に設けない。

出典：ティム・インゴルド『生きていること——動く、知る、記述する』

左右社、二〇二二年